



『防災講演会』のご案内

NPO 法人 都市災害に備える技術者の会では、防災講演会を下記のとおり開催いたします。

今回は、読売新聞 大阪本社で在職中に阪神・淡路大震災を自らも体験し災害報道に取り組んだ後、神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科教授として教鞭を執る傍ら、日本災害情報学会理事や「関西なまずの会」会長として活躍されております安富 信氏をお招きし、「2018年 頻発した災害—災害報道の現状と課題—」と題しましてご講演を戴きます。

日常業務多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようご案内申し上げます。

日 時：平成31年2月9日(土) 13時30分～16時50分

場 所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）セミナー室①

住 所：大阪市中央区大手前1-3-49 電話：06-6910-8500

テ ー マ：『2018年 頻発した災害 —災害報道の現状と課題—』

講 師：安富 信氏（神戸学院大学 教授）

参加費：無料

申込期限：特にありません。

会場の都合により

先着50名とさせていただきます。

主 催：NPO 法人 都市災害に備える技術者の会

後 援：日本技術士会 近畿本部 建設部会

日本技術士会 近畿本部 防災研究会

泉南市防災技術者の会



2月9日『防災講演会』 参加申込書

NPO 法人 都市災害に備える技術者の会 防災講演会に参加申し込みます。

申込日 平成31年 月 日

氏 名		所 属	
勤務先		電話番号	
メールアドレス			

【申込先】NPO法人 都市災害に備える技術者の会 事務局 太田宛

E-mail: office@toshisaigai.net Fax : 078-907-3123

防災講演会

『2018年 頻発した災害—災害報道の現状と課題—』

神戸学院大学教授 日本災害情報学会理事 安富 信氏

【講師略歴】

■安富 信（やすとみ まこと）神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 教授

1979年 読売新聞大阪本社入社。

松江支局、京都総局、社会部府警捜査一課担当、遊軍記者などを経て、
社会部阪神支局（兵庫県尼崎市）次席

1995年1月 在籍中、阪神・淡路大震災が発生。

2005年から1年間、人と防災未来センター研究調査員として出向し、
災害情報論を学ぶ。

2006年から4年間、読売新聞防災・減災担当編集委員。

2014年4月

新設された神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 教授に就任。



安富 信教授

日本災害情報学会理事、社会貢献学会事務局長（理事）、
さんだ防災リーダーの会相談役、減災報道勉強会「関西なまずの会」会長。

専門は、災害情報、災害報道、危機管理情報、ボランティア論。

【講演概要】

大阪府北部地震、西日本豪雨、台風20号、21号に見舞われた関西、そして9月6日に発生した北海道胆振地方の大地震。2018年はまさに災害の年でした。

24年前に起きた阪神・淡路大震災では、マスコミ各社はヘリコプター騒音や避難所取材、手段的過熱取材（メディアスクラム）で大きな批判を受けました。

それから24年、「マスコミの取材は進化しているのか？」この視点で、2018年の災害報道を振り返ります。

「被害の大きな地域に偏向する取材」、「被災者のプライバシー無視」や「強引な取材はなかったか？」、「時の政権に利用されたような報道は？」、「地震発生直後のテレビの伝え方は？」などを検証します。